

第二十七回フオト句会優秀作品(25年3月11日)

<自由題>



みちのくの古寺に振り積む
鎮魂(しずめ)雪 大月和彦
寸評: 東日本大震災の記念日に際して、雪降る金色堂を詠ったもので、誠に時宜に合った作品だと思います。

チョット待て!しばし留めん
梅の香を 矢澤 正二
寸評: 普段なら何気なく通り直ぎて終う道路標識と梅の花の組み合わせ。センス溢れる句がついて素敵なフオト句になった。



上回み 下腹が出る
ダイエット 中村 晃也
寸評: 世の中には不思議なデザインのビルがありますね。作者の体型に似ているって?



公園でフィギアを舞う
 水の精 池田 隆
 寸評：美しい画面に脱帽。原句は
 井の頭フィギアの如く舞う水の精。

思い出す 機嫌損ねた
 父の顔 三春
 寸評：魚を正面から撮る勇氣。父
 を思い出す感傷。いずれも佳とす。

<句 付 け>

3月の御題写真



月淡し桃の節句のひと休み	三 春
仲良しも彼氏とりあう恋敵	池田 隆
合コンのあとで男の品定め	中村 晃也
大部屋で次の出番はいつだっけ	矢澤 正二

<寸 評> 今月の写真は池田さん出題の、源氏物語の人形展の一部を撮影したものです。
 三春さん：お雛様（三人官女）が小休止している情景と素直に捕らえた。
 池田さん：普段は仲良くしているが、一旦彼氏の取り合いになると凄い情景になるという、若い女の心情を知り尽くした作者の深い読み。
 中村さん：源氏物語に「雨夜の品定め」の巻があるが、女だって合コンの後の男の品定めは相当なもの。
 矢澤さん：数秒のカットでも、緊張して待たねばならない大部屋女優の心境。長い間御題写真を提供された池田さん、ご苦労様でした。